

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 96

1950, 6, 3

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL092-641-1101)
内線 2256

目 次

◇システムの現状について.....	1
○◇紙テープジョブの利用について.....	2
◇XYプロッタについて.....	6
◇プロッタジョブの仕分けについて.....	6
◇特殊I/O使用ジョブについて.....	7
◇新規に登録されたライブラリについて.....	8
◇利用者講習会開催について.....	8
◇利用の手引きについて.....	9
◇利用の手引ライブラリ編(第II部)の訂正.....	9

◇システムの現状について

1. ¥ALGOLのパラメータIDLISTは当分使用できません。

このパラメータを指定すると翻訳時に次のエラーメッセージが出てアボートされます。

```
AL413Y EXEC NO PARAMETER AYAMARI.
```

2. 実行時何らかの原因で完了コード511でアボートされた時、場合によっては処理プログラム領域のダンプが出るようマクロを変更しています。センター例でエラーの原因を調査する資料としますので、このような時はリストを添えて受付またはプログラム相談室にお申し出ください。

3. CPSサブシステムの障害

EDITOR 2: 指針に関するサブコマンドで、LISTされた結果が実際と一致しないことがあります。

4. FORTRANHでファイルからソースプログラムをコンパイルする場合は、E=(エレメント名.....)のパラメータは省略できません。

5. CPSサブシステムの実行パラメータに、バッチジョブと食違いがあり御迷惑をおかけしましたが、5月19日よりバッチジョブに合わせるよう修正しました。

6. 利用者プログラムの使用出来るコア使用量の内訳について

バッチジョブの場合 $96KW - 6KW$ (ジョブ制御用作業域) = $90KW$ (ジョブ種別A~C)

$160KW - 6KW$ (ジョブ制御用作業域) = $154KW$ (ジョブ種別D)

CPSジョブの場合 $96KW - 24KW$ (セッション制御用作業域) = $72KW$ が利用者自身の使用出来るコア使用量です。

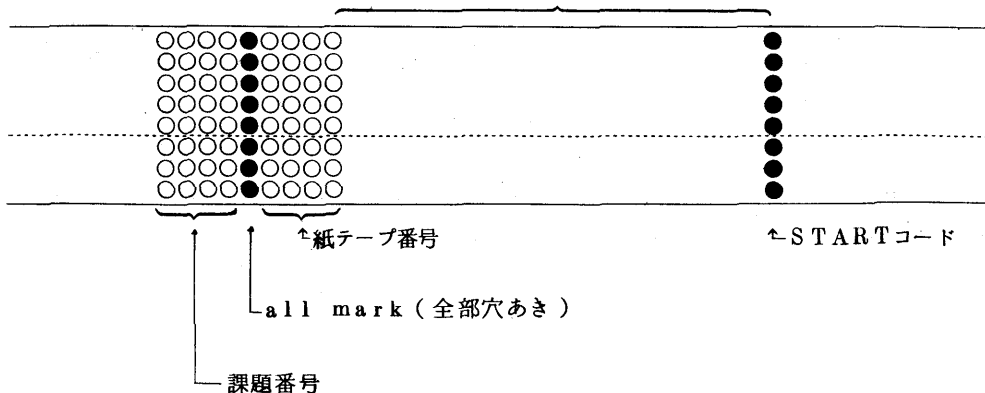
◇紙テープジョブの利用について

1. 紙テープへ与えるべき情報とその与え方

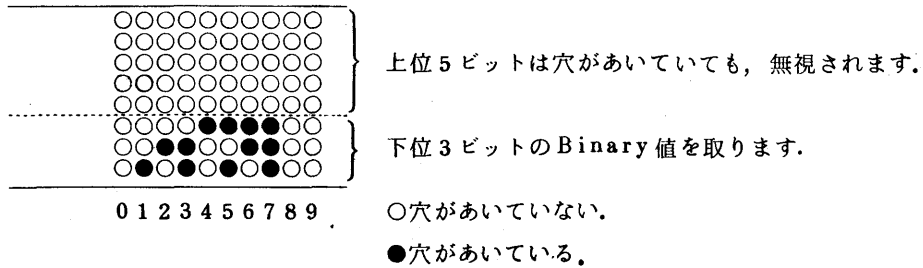
紙テープデータには、紙テープの先頭に、<紙テープファイル番号>を、また1本の紙テープの終りには<紙テープが次に続くか>または<これで終りとなるか>を指示するコードが必要となります。

- 紙テープファイル番号の与え方(紙テープが2本以上に渡る場合、2本目以降には必要ありません)

STARTコードが同一紙テープ上にあるときは
20cm以上の紙送りが必要です。

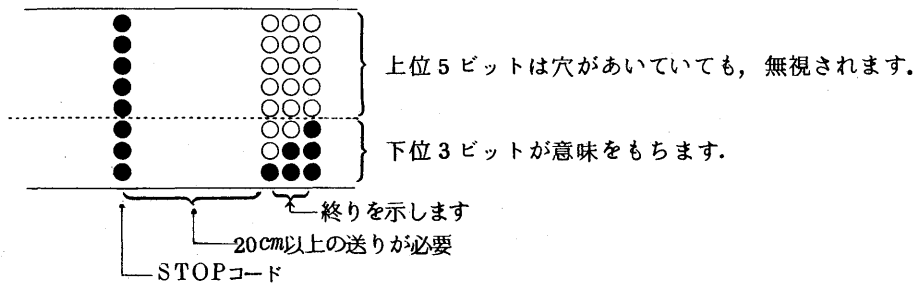


課題番号および追番は Binary の値で示します。(下図に説明)

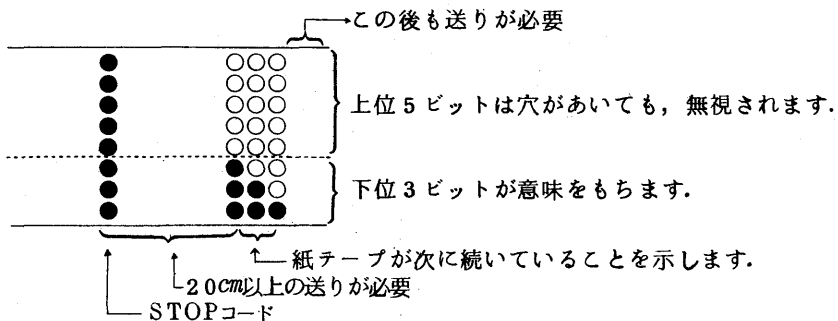


• 1本の紙テープの終りの情報の与え方

㊦ 紙テープがこれで終る場合



㊧ 紙テープが次に続く場合



2. ジョブの依頼方法

2.1 九大内利用者およびデバッグ利用者がジョブを依頼する場合

- ① 2階受付に備えつけのオープン機器貸出一覧表に時間帯を記入します。
- ② 2階ロビーの端末タイプライタを下記の例のように操作します。

YYCPS F0467④

• FACOM 230 M-6/7 CPS (V02-L01) カイシ 75.05.21.09:47:22

+ パ ス ワ ー ド ? = XXXXXXXXXXXX ⑤

• JOB NO. = T0056732

• ユウビ ン ファイル ガ ヨメナイ

• CPS (V-02/L-00) シヨキセツテイ セイジ ヨウ シュウリヨウ

• シュツリヨク マチ:ナシ

#BATCH T⑥

* バ ッ チ ジ ョブ ニュウリヨク.

*YYNO B046799

• ジ ョブ B046799 ノ バ ンゴ ウ ハ B04670056734

*YQJOB

*YPTRTODA 3 ⑦

*YJEND

• プ リスタック シュウリヨウ.

*YEND

#YDCON

.*****SESSION ACCOUNT LIST*****

•MEMORY SPACE OCCUPIED	25 KW	
•CPU TIME	100 MS	20 YEN
•SYSTEM I/O	14 LINES	4 YEN
•TOTAL CHARGE		24 YEN
•USER ACCOUNT		18299 YEN

.*****

• セ ッ シ ョ ン オ ワ リ. F0467 09:53:44

~~~~線のある箇所は利用者自身でタイプインします。

④ C P S のセ ッ シ ョ ン 開 設 の コ マ ン ド と ユ ー ザ 名 を タ イ プ イ ン し ま す 。

⑤ 8 桁 以 内 の 登 録 名 を タ イ プ イ ン し ま す 。

⑥ C R B O ジ ョ ブ の 依 頼 コ マ ン ド を タ イ プ イ ン し ま す 。

⑦ 紙テープ入力マクロ名と紙テープファイル数(連続して紙テープファイル番号を読む回数)をタイプインします。

注) 端末タイプライタの操作方法の詳細は、利用の手引 T S S 編暫定版, FACOM230

M-VI/VII 会話形処理説明書をご覧ください。

③ オープン・カードリーダーまたは端末タイプライタより紙テープを処理するジョブを依頼します。(ジョブの構成は、3.1の項で示します。)

④ 紙テープジョブの結果が正常だったら紙テープファイルを消去します。  
(ジョブの構成は、3.2の項で示します。)

## 2.2 連絡所利用者がジョブを依頼する場合

① 紙テープにラベルをはり氏名と連絡先及び紙テープファイル名を記入します。

② 処理依頼カード、返却カードの右上の角に紙テープファイル名を記入します。

③ 紙テープの処理を依頼します。(ジョブの構成は、3.1の項で示します。)

④ 紙テープジョブの結果が正常だったら紙テープファイルを消去します。(ジョブの構成は3.2の項で示します。)

## 3. 紙テープジョブのコントロールカードとカードの構成法

### 3.1 紙テープを処理するジョブのカード構成

¥NO

¥USER

¥QJOB

¥FORTRAND

|                       |
|-----------------------|
| FORTRAND プログラム ソースカード |
|-----------------------|

¥LIEDRUND

|         |
|---------|
| データ カード |
|---------|

¥PSFILE DAPTR, 紙テープファイル名

¥JEND

紙テープファイル名は、ユーザ名・PT〔紙テープ番号〕です。

(例) F0467・PT0023

### 3.2 紙テープファイルを消去するジョブのカード構成

¥NO

¥USER

¥QJOB

¥SCRATCH ファイル局所名

## ¥ J E N D

この場合、ファイル局所名は P T [紙テープ番号] です。

3.1 の例では、P T 0 0 2 3 が、これにあたります。

### ◇ X Y プロッタについて

X Y プロッタについてはセンターニュース № 9 5 でお知らせしましたが、その中で述べているように暫定的な運用をしているために種々のトラブルが発生して利用者の方々には大変御迷惑をおかけしております。このことについてセンターではいろいろ対策を検討してはおりますが、現在の運用方式をとる限り根本的には解決できない問題であり、S Y S O U T 経由の運用を急ぐ他に方法はありません。

現在トラブルが発生しているのはプログラムに何らかのミスがある場合がほとんどで、実行時にエラーのないプログラムでは正常に動作しております。

特にプロッタサブルーチンの使用方法にミスがないか、またプロッタサブルーチン以外でも F O R T R A N 実行時に完了コード 4 6 7 以上のエラー（レベル W 以外のエラー）が起ることがないかなどプログラムをもう一度確認くださる様をお願いします。

なお、P S P の障害については、障害が発生した時点で原因調査し、早急に障害修正する様にしていますので、おかしいと思われる結果がありましたら L P およびプロッタ出力結果を添えてプログラム相談室または受付までお申し出ください。

### ◇ プロッタジョブの仕分けについて

プロッタ使用ジョブで次の場合には L P 仕分情報に“ X Y ”と出ているプロッタ出力結果はありません。

- (1) F O R T R A N 実行時にエラーが発生して完了コードが 4 6 7 以上の時は、そのジョブステップでジョブの実行が打ち切られるため、プロッタ出力はない。
- (2) プロッタ出力途中（ジョブステップ P L O T O U T 実行中）に完了コード 4 9 9 以上のエラーが発生した場合、その時点でプロッタ出力を打ち切るため仕分情報が出力されない。
- (3) ¥ A P R U N でパラメータ P L O T T E R = U S E の指定がある場合または、¥ P L O T R U N で、対応するマクロ ¥ P L O T O U T の指定がない場合

したがって、プロッタ出力結果がない場合は、完了コードを調べると共に、マクロの使用にミスがないか、プログラムにミスがないかをチェックしてください。

なお、プロッタ出力途中 S I D E E N D エラーが 2 0 回発生した時は完了コード 4 9 9 で出力を打ち切っていましたが、5月15日より発生回数 1 0 0 回までは出力する様変更されています。

す。

また仕分情報出力時にサブルーチンSETを2回呼び出していますので、ジョブステップPLOTOUTは正常に処理された場合、完了コードは469となります。

#### ◇特殊I/O使用ジョブについて

カードパンチ、XYプロッタ、磁気テープ、グラフィック・ディスプレイ(注1)、紙テープリーダー(注2)等の特殊I/Oは、CRBOおよびAジョブでは使用できません。

CRBOジョブまたはAジョブで次のマクロを使用すると“MACRO NO NAKA NI ERROR BUN GA ARU”でリジェクトされます。

|              |                           |
|--------------|---------------------------|
| ¥SYSPCH      | (カードパンチの定義)               |
| ¥PLOTOUT     | (XYプロッタ出力)                |
| ¥SLFILE      | (標準ラベルMTの定義)              |
| ¥NLFILE      | (非標準ラベルおよびラベルなしMTの定義)     |
| ¥APRUN       | (MT登録の利用者提供EBプログラムの実行)    |
| ¥LIBCOPY     | ( “ ライブラリプログラムの複製作表)      |
| ¥CLUSTER     | ( “ アプリケーションCLUSTERの実行)   |
| ¥DYNAMO      | ( “ ” DYNAMOの実行)          |
| ¥GPSS        | ( “ ” GPSSの実行)            |
| ¥GPFS        | ( “ ” GPFSの実行)            |
| ¥KEMPF       | ( “ ” KEMPFの実行)           |
| ¥KEMPFX      | ( “ ” KEMPFXの実行)          |
| ¥LIPS        | ( “ ” LIPSの実行)            |
| ¥MULVA       | ( “ ” MULVAの実行)           |
| ¥PAS1        | ( “ ” PAS1の実行)            |
| ¥PERTMAN     | ( “ ” ” PERT/MANPOWERの実行) |
| ¥QUANTAS     | ( “ ” QUANTASの実行)         |
| ¥GRAPHIC(注1) | (グラフィック・ディスプレイ使用)         |
| ¥PTRTODA(注2) | (紙テープファイルの作成)             |

(注1)グラフィック・ディスプレイはグラフィック専用端末でのCRBOジョブのみ使用可能となっています。

(注2)8単位紙テープはセンター内専用端末からCRBOジョブで¥PTRTODAにより紙テープファイルを作成した後は¥PSFILEのマクロでCRBOジョブまたはAジョブでも

使用できます。

◇新規に登録されたライブラリについて

以上のプログラムを試用期間中のライブラリとして5月21日登録いたしましたのでお知らせいたします。

| 登録番号 | IDコード        | 題 目 (EBNAME)     | 形式 | ファイル名 | マクロ名   | 複製作表用<br>ファイル名 |
|------|--------------|------------------|----|-------|--------|----------------|
| 151  | Y1/QC/Z/ACAC | 一般的吸収補正 (UACACA) | EB | MT    | ¥APRUN | A・LIB          |

◇利用者講習会開催について

ALGOLの講習会を下記の要領で行ないますので、受講希望者は6月14日(土)までに西利協事務局(TEL 641-1101内線 2264)へ申し込んでください。

記

- ・期 日 6月18日(水), 19日(木), 20日(金)
- ・対 象 初心者およびプログラミング経験者(センター利用有資格者)
- ・テキスト FACOM 230 M-V ALGOL解説編(各自持参:生協書籍部にて販売)
- ・会 場 大型計算機センター会議室(5F)
- ・時 間 割

9:30

12:00 13:00

16:00

|     |      |                 |             |                     |  |
|-----|------|-----------------|-------------|---------------------|--|
| 18日 | あいさつ | ALGOL基本事項       | 昼<br>休<br>み | 繰返し文, スイッチ, プログラム構造 |  |
|     |      | 代入文, 条件文, 飛び越し文 |             | 入出力手続き, 標準関数        |  |

|     |         |             |                    |     |            |
|-----|---------|-------------|--------------------|-----|------------|
| 19日 | 手続き, 関数 | 昼<br>休<br>み | センター<br>利用につ<br>いて | 演 習 | 穿孔計<br>算依頼 |
|     |         |             |                    |     |            |

|     |          |            |             |         |      |
|-----|----------|------------|-------------|---------|------|
| 20日 | デバック用手続き | 穿孔機使用方法の説明 | 昼<br>休<br>み | リストの見方  | 計算依頼 |
|     | 制御データ    |            |             | 計算結果の返却 |      |



◇利用の手引きについて

昭和50年4月1日より、FACOM 230-75M-VIIシステムの運用に伴ない新しく下記の「利用の手引き」を発行いたしましたので、ご希望のものがございましたら下記の事項を記入の上、西利協事務局（郵送の場合は、センター共同利用掛宛）に提出して下さい。

利用の手引

|         |               |
|---------|---------------|
| 基本編     | 新版            |
| 制御文編    | } 暫定版         |
| ファイル編   |               |
| TSS編    |               |
| ライブラリ編  | 従来の手引書使用      |
| XYプロッタ編 | センターニュース№95使用 |
| 紙テープ編   | センターニュース№96使用 |

記入事項

- 資料名
- 氏名
- 身分
- 課題番号又は支払責任番号
- 所属機関
- 送付先

※ 配布申し込み資格は原則としてセンター利用有資格者とします。

送付先 〒812 福岡市東区箱崎6丁目10番1号

九州大学大型計算機センター共同利用掛

◇利用の手引 ライブラリ編（第II部）の訂正

| 頁    | 行  | 正                                                                                                                                             | 誤                                            |
|------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 56-1 | 下4 | CALL MINMAX(A, K, M, N, P, NN, X, KROW, EPS, ILL)                                                                                             | CALL MINMAX(A, K, M, N, P, NN, X, KROW, EPS) |
| 56-2 | 下4 | ILL 整数型変数名。サブルーチンから戻った時の状態がセットされる。<br>0…正常<br>30000… $M \leq 1$ または $M > 400$ または $N \leq 0$ または $N > 80$ または $N \leq NVKMM$ または $NN < N$ のとき | 挿入                                           |

◇ 6月20日以前に作成されたXYプロッタのEBについて

6月20日からXYプロッタの出力形式を変更しておりますので、それ以前に作成されたXYプロッタのEBは至急作りかえてください。そのまま実行させた場合、出力形式の変更に伴う種々の改善は無効となります。(場合によっては、XYプロッタの出力結果が返らないことがあります。)